

～家庭学習について～

何のために家庭学習を行うのか…

本校は「地域をリードする人材の育成（リーダーシップ・フォロワーシップ）」や「地域との協働等」を核とした「義務教育学校」に生まれ変わりました。また、「令和の日本型教育」では、「指導の個別化」「学習の個性化」が一層求められているところです。

<義務教育学校として目指す児童生徒像>

- ①地域の「人やもの、こと」と積極的に主体的にかかわり、自己や地域社会に自信と誇りをもつ姿
- ②自己の強みを「影響力」として発揮し、状況に応じて他者を支え協働する姿
- ③自ら学ぶ力と社会に参画する態度を身に付ける姿

学校で目指す児童生徒像に即して、家庭においても自ら進んで課題を見だし、自律的に学習に取り組む子供に育ててほしいと願っています。そこで、前期課程で取り組む家庭学習で目指す子供たちの姿を以下のように設定しました。

学校の授業や、身のまわりの「人・もの・こと」の中から「やってみたい！」

「はてな?」「どうして?」を見付け、進んで学習できるようになろう

これは、本校の「総合的な学習の時間」や「地域学」において目指している「見つける」「関わる」「探究する」「協働する」「価値を生み出す」などの子供の姿につながるものです。

家庭学習においても自ら進んで課題を見だし、自律的に課題に取り組み、振り返りでは、「やってみてどう思ったか」「何が分かったのか」「～すると…ができたのか」などと振り返りを行うことで、「自分の好き」や「分かったこと」、「身に付いた力」が明確になり、課題を更新したり、学習した知識・技能を活用して学習内容の定着を図りながら問題を解決したりするなど、探究する力を育てていきます。

具体的な進め方は、児童向け「家庭学習の取組」(P.26)を御覧ください。

授業やノートへの取組で、足りないと感じる場合は、必要に応じて、タブレットドリルに取り組むことができます(※教師からの宿題配付はありません)。

家庭学習の概要(2024年度～)

低学年
長期的に自ら学ぶ力を育成
高学年

低学年からスタートする土台づくり

授業や生活の中で子供たちが「本当にやりたいこと」を見いだす経験(ノートを中心に取り組む)

私は、絵を描くのが好きだと思
う!次は、花の絵をかきたい!



位を揃えて計算すると、答えが求
められることが分かった。大きい
数でも同じようにできるかな?



多くの情報がほしかったけど、正
しい情報がほしい!次は、専門家
から話を聞いてみたい!



振
り
返
り

この課題をやってみて、
どう思いましたか?



この課題をやってみて、
何が分かったの?



この課題をやってみて、
どうしてインターネット
で調べたの?



短期的な
学力の保障

タブレットドリル
の活用

内容の工夫

子供たちの選択

回数の充実

個別最適な内容

子供たちが、自ら進んで課題を見だし、自律的に取り組もうとする(探究する)力

後期課程進級へ!